

第 3 章

計画の理念と目標

基本理念

仁木町では、急速な少子高齢化が進む中で、家庭や地域のつながりを見直し、互いに「支え合う心」、「温かい心」、「優しい心」の3つの「心」を大切にする地域福祉（福祉コミュニティづくり）を進めています。

地域みんなが子育てを通じて優しいつながりを持ち、喜びに満ちた生活を送ることができ、安心して子育てができる地域社会を築くための基本理念を次のように定めます。

**子どもを家庭と地域で育む
やすらぎの里**



基本目標

地域住民が助け合い、安心して子育てができるよう、次の4点を基本目標とします。

（子どもからの視点）

・健やかな成長を支援する基盤づくり

子育て支援サービス等により、より影響を受けるのは多くの子ども自身であり、子どもの幸せを第一に考え、子どもの利益が最大限に尊重されるよう配慮します。

また、子どもは次代の親になるという認識の下に長期的な視野に立った子どもの健全育成のための取り組みを進めます。

（保護者からの視点）

・子どもを生み育てることに喜びを感じる環境づくり

父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという認識のもと、子どもが健やかに育つことのできる環境づくりを進め、かつ子育てに伴う喜びが実感されるような取り組みを進めます。

（地域からの視点）

・子どもとその保護者を地域で支え合う体制づくり

子育てについての基本的役割は親にあります。子どもは地域のたからものであるとともに社会の一員であり、健やかに育むためには、地域や企業、行政等がそれぞれの責務を担いながら、子どもとその保護者を地域で支え合う体制づくりを進めます。

（事業者からの視点）

・子育て家庭に配慮した環境づくり

急速な少子化の進行は、今後わが国の社会経済全体に極めて深刻な影響を与えることが予想されます。子育てと仕事の両立支援のみならず、様々な地域の社会資源を十分かつ効果的に活用し、社会全体で協力して子育て家庭に配慮した環境づくりの支援を進めます。

仁木町次世代育成支援行動計画 体系表

